

お知らせ

中央公民館講座

「カラダは食べた物からできてい
る」～元気な人生100年のため
のヒント～

栄養・運動・口腔ケアのことを
実例と体験を交えて考えます。

▽とき 7月19日(金)・午前10時～
11時30分

▽ところ 中央公民館2階

▽講師 株式会社明治 食育担当
管理栄養士 平山愛友(あゆ)さん

▽定員 60人(事前申し込み先着順)

▽参加費 無料

▽申し込み 6月30日から・午
前9時～午後5時に中央公民館
(☎222・1681)へ

※月曜日は休館です。

芦屋釜の里イベント情報

①七夕茶会

新緑が美しい季節に七夕茶会を
行います。

▽とき 7月7日(日)・午前10時～
午後3時受け付け

▽ところ 芦屋釜の里 大茶室

▽内容 大茶室での茶会(和菓子
と抹茶)

▽料金 中学生以上500円・小
学生300円(入館料とお茶代)、
未就学児200円(お茶代)

②夏限定、抹茶アイス

星野村の抹茶と阿蘇
のジャージー牛乳を使
った、こだわりの味を
ご賞味ください。



▽期間 7月13日(日)～8月31日(日)

▽ところ 芦屋釜の里 立礼席りやうれいせき

▽料金 中学生以上500円・小
学生300円(入館料とアイス・
冷茶代)、未就学児200円(ア
イス・冷茶代)

③夏休み園内クイズラリー

夏休み期間中、こども向けに園
内クイズラリーを行います。

▽とき 7月13日(日)～9月16日(日)・
午前9時～午後5時(受け付け
は午後4時40分まで)

▽ところ 芦屋釜の里内各所

▽内容 施設内にあるヒントを見
つけてクイズを解く(すべての
クイズに正解した人にはくじで
景品を進呈)

▽対象 中学生以下

▽参加費 小学生100円・中学
生200円(入館料)

④夏休み親子鋳物講座

夏休みに親子で鋳物の作品づく
りに挑戦してみませんか。

▽とき 7月28日(日)・午前10時～

11時30分

▽ところ 芦屋釜の里 講座室

▽内容 鋳物の絵皿づくり

▽対象 小学4年生以上

▽定員 8組16人程度(事前申し込み先着順)

▽参加費 小学生950円・中学生
以上1050円(入館料を含む)

※付き添いの保護者は入館料20
0円が必要です。

▽申込期間 7月5日(金)～19日(金)・
午前9時～午後5時

⑤夏休み親子抹茶点て体験

親子で一緒に抹茶を点ててみま
せんか。

▽とき 8月4日(日)・午前10時30
分～11時

▽ところ 芦屋釜の里 大茶室

▽内容 抹茶を点てる体験と抹茶
の飲み方を学ぶ

▽対象 小学生以上

▽定員 5組(事前申し込み先着順)

▽参加費 中学生以上500円・
小学生300円(入館料、お茶・
菓子代)

▽申込期間 7月14日(日)～28日(日)・
午前9時～午後5時

【共通項目】

▽申し込み 芦屋釜の里 (☎22
3・5881)

※月曜日は休館です。ただし、月
曜祝日の場合はその翌日が休館

です。

訂正とおわび

4月末に対象者に送付した風し
んクーポン券に同封した案内チラ
シに、一部誤りがありました。訂
正しておわびします。正しくは次
のとおりです。

●芦屋中央病院 問い合わせ先

【誤】093・223・2931

【正】093・222・2931

▽問い合わせ 健康づくり係 (☎
223・3533)

広告

うちの子「結婚」しないのかしら?
独身のお子様の結婚相談承ります

お子様の結婚に関するお悩み、
プロの仲人がお答えします。

まずはお気軽に仲人にご相談下さい

☎093-967-0555

結婚相談所 ムスベル

芦屋歴史紀行

その三百三十八

芦屋歴史の里移転開館20周年
記念特別展

「妖怪！百鬼夜行〜海にひそむもののけたち〜」より①



△妖怪展イメージ

原始、明かりは炬ではぜる炎だけであった時代、夜の闇は人に畏れを教えました。今はいつでもどこでも何かしら明かりがある生活を送る私達ですが、停電した夜や、月や星が隠れた夜などは、ふだん見慣れた場所さえ、よそよそしく人の支配を拒否しているかのようです。

海に面する町、芦屋で暮らしていると、波打ち際で長時間過ごす機会があります。月の光が煌々と照らす星月夜でも、寄せては返す海面を見続けると水底に引き込まれそうな錯覚に襲われます。ましてや朔月や新月の頃ならなおさらです。現代の我々ですら闇や海に対して不安を持つのですから、乏しい明かりと不確かな知識しかない時代の人々ならなおさらでしょう。何かしら怪しい気配を感じることがあったとしたら、この怪しい気配に「妖怪」と

名をつけ、少しでも理解しようとしたのでしよう。

自然や闇、わだつみ（海）に対する畏怖や人の心にひそむ猜疑心・不安が妖を生み出しました。逆に言うと、人や明かりのない所には妖怪は生まれないのです。平安時代の都大路を支配し、貴族たちを恐れさせた百鬼夜行には形がありませんでした。恐ろしいもの、凄まじきものとしか形容されていなかったのです。

これに対して、中世の絵巻物に登場する不思議な妖怪たちの行列も、百鬼夜行と呼びます。そのほとんどは付喪神と呼ばれる古びた道具が変化した姿をしています。職人が道具を作り、庶民が僅かながらも初めて自分の家財道具を持ち始めた、中世という時代が生み出した怪しげな妖怪の姿を見ることが出来ます。地方にありながらも、往古より人が往来し、職人が住み、海辺の町であつた芦屋には、怪異が多く伝わることも肯けるところです。

現代の日常生活では消えてしまった、懐かしくも怖ろしい闇。闇の中、海の中にひそむ妖怪と、ふさと芦屋の接点を探ります。

（芦屋歴史の里）

【特別展】

▽とき 7月13日（土）～9月16日（月）
午前9時～午後5時

▽入館料 中学生以上200円、小学生100円

【クイズラリー】

参加者には、景品があります。

▽対象 中学生以下

【ギャラリートーク】

▽とき ①7月20日（土）、②8月17日（土）、③9月7日（土）各10時より1時間程度

▽申し込み ①7月13日（土）～19日（金）②8月10日（土）～16日（金）③8月31日（土）～9月6日（金）午前9時～午後5時に芦屋歴史の里（☎222・2555）へ

【共通項目】

▽ところ 芦屋歴史の里

▽協力 湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）

▽特別協力 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

▽問い合わせ 芦屋歴史の里（☎222・2555）

※月曜日は休館です。月曜日が祝日の場合は翌平日が休館です。



編集後記

▼芦屋釜の里開園記念茶会の取材に行きました。参加した皆さんは、庭園のゆったりとした雰囲気の中、季節に合わせた器の趣に触れ、飾られた花を愛でながら会話をしていました。こんな上品な時間を過ごせる場所がある芦屋町は、とても魅力的な町だと思っています。夏休みは親子で楽しめるイベントがたくさんあるので、皆さんぜひ足を運んでみてください。（野中）

▼シティブロモーション係に配属され、初めて一人で取材に行ってきました。一眼レフのカメラを使って写真を撮ったことがなく、花にフォーカスし過ぎると人が目立たなくなり、人にフォーカスし過ぎてしまうと、花植えボランティアの写真と分かってなくなってしまう、てこずりながら撮影しました。「まちの話題」に記事がありますので見てもらえたら嬉しいです。（篠塚）

▼芦屋町の魅力。海で遊べて海辺のプールで泳げて花火大会や砂像展などのイベントも楽しめる。そんな芦屋の「楽しい」をまとめた観光PR動画ができました。ふるさと観光大使のコンバット満さんが主演です。裏表紙の2次元コードから動画のURLに行けるので見てくださいね。（那木）

